

## 航空法第111条の4に基づく報告一覧(令和2年4月~令和3年3月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	北九州空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/1	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	神戸空港	長崎空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	上海(浦東)	整備委託先において、脚厚のシールに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	大阪国際空港	那覇空港	進入中、必要な操作を失念したことから、対地接近警報装置が作動した。	
4/2	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		福岡空港	中部国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/3	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/3	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA02HC	函館空港	札幌飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		中部国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	山口宇部空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	山口宇部空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	関西国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/4	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	沖永良部空港	鹿児島空港	出発前の外観点検で胴体後部のテールバンパーに擦過痕を発見した。	
4/4	スカイマーク					勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、整備従事者からアルコールが検知された。	
4/4	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA02HC	札幌飛行場	釧路空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/4	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA601F	成田国際空港	ソウル(仁川)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	福岡空港	飛行中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を超過した。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	成田国際空港	ブノンベン	進入中、操作手順の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
4/5	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	出雲空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA66AN	東京国際空港	千歳飛行場	社内調査の結果、操縦室内のスイッチ交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	東京国際空港	福岡空港	飛行中、化粧室内の煙探知機が作動したため引き返した。	イレギュラー運航
4/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	那覇空港	中部国際空港	飛行中、飛行管理装置の入力画面が消失した。	
4/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	那覇空港	中部国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/7	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA214A	松山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	福岡空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	中部国際空港	鹿児島空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/7	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ			社内調査の結果、発動機の取付け部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
4/8	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	大阪国際空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	台北(松山)	東京国際空港	客室乗務員が運航間のアルコール検査を適切に実施せずに運航したことが判明した。	
4/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	鹿児島空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		福岡空港	中部国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/9	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、擾乱による姿勢変化を修正していたところ、対地接近警報装置が作動した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/9	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	対地接近警報装置の地形データに誤りがあったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
4/9	全日本空輸	E737型A321-272N型	JA139A	東京国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置が作動した。	
4/9	スターフライヤー	E737型A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	大阪国際空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	福岡空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	福岡空港	大阪国際空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
4/12	Peach Aviation	E737型A320-214型	JA815P	福岡空港	関西国際空港	社内調査の結果、機内酸素マスクの不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
4/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	福岡空港	仙台空港	飛行中、副操縦士側(右側)前方の操縦室窓にひび割れが発生した。	
4/12	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	但馬飛行場	大阪国際空港	降下中、第1エンジンの出力が低下し、不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	香港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/13	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	東京国際空港	熊本空港	上昇中、気流の変化に対応していたところ、管制指示高度を超過した。	
4/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/14	エアアジア・ジャパン	E737型A320-216型	JA01DJ			試験飛行中、一部の客室内の酸素マスクが展開しないことが判明した。	
4/15	ジェットスター・ジャパン	E737型A320-232型	JA03JJ			社内調査の結果、飲み水用タンクに関する消毒の実施期限を超過していたことが判明した。	
4/15	スターフライヤー	E737型A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	福岡空港	飛行中、気象レーダーの表示に不具合が発生した。	
4/16	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	東京国際空港	高松空港	進入中、管制指示を誤認したことから、管制指示高度を超過した。	
4/16	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
4/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J			定時整備中、水平安定板の下面に亀裂が発見された。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J			定時整備中、水平安定板の構造部に亀裂が発見された。	
4/17	Peach Aviation	E737型A320-214型	JA09VA	成田国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	神戸空港	松本空港	着陸後、機内の与圧が運用限界を超過した。	
4/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	福岡空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	那覇空港	神戸空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/22	日本航空	ボーイング式777-200型	JA897V	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/22	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	那覇空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/23	日本航空	E737型A350-941型	JA02XJ	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	福岡空港	離陸滑走時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
4/24	Peach Aviation	E737型A320-214型	JA818P	成田国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	北九州空港	降下中、気流の変化に対応していたところ、管制指示高度を超過した。	
4/25	Peach Aviation	E737型A320-214型	JA811P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
4/25	Peach Aviation	E737型A320-214型	JA811P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
4/26	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	大阪国際空港	松山空港	運航管理補助者が勤務開始時のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	上海(浦東)	成田国際空港	社内調査の結果、実施した作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
4/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA812A	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
4/28	ジェットスター・ジャパン	E737型A320-232型	JA03JJ			社内調査の結果、非常脱出装置の交換作業が適切に行われていないことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/28	スターフライヤー	E7B5式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	山口宇部空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	那覇空港	福岡空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
4/29	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA03HC	函館空港	奥尻空港	上昇中、非常用照明灯のサーキットブレーカーがトリップした。	
4/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA834A			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/30	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	帯広空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
4/30	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	中部国際空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	那覇空港	宮古空港	着陸復行時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
5/2	スターフライヤー	E7B5式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/3	スターフライヤー	E7B5式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/4	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA67AN	中部国際空港	那覇空港	飛行中、胴体中央の非常脱出扉に不具合があったことを示すライトが点灯した。	
5/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	福岡空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/6	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	成田国際空港	サンフランシスコ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	広島空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	東京国際空港	南紀白浜空港	離陸滑走中、速度検知系統のヒーターに不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	東京国際空港	シカゴ	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA744A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	ホーチミン	東京国際空港	地上担当者の誤入力により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	関西国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったが、検査記録を適切に処理しなかった。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査記録を提出していない事が判明した。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	関西国際空港	成田国際空港	客室乗務員が乗務前のアルコール検査記録を提出していないことが判明した。	
5/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	関西国際空港	成田国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査記録を提出していない事が判明した。	
5/11	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	天草飛行場	福岡空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/13	スターフライヤー	E7B5式A320-214型		北九州空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/14	スターフライヤー	E7B5式A320-214型		東京国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/15	スターフライヤー	E7B5式A320-214型		関西国際空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/15	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	新千歳空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
5/16	ANAウイングス	ホンダセルビア式DHC-8-402型	JA848A	那覇空港	中部国際空港	飛行中、補助動力装置の火災探知器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/16	Peach Aviation	E7B5式A320-214型	JA825P	成田国際空港	鹿児島空港	着陸進入待機中、大気の擾乱により、一時的に指示高度を逸脱した。	
5/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J			社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
5/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J			社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
5/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	神戸空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに副操縦士指導機長業務を行っていたことが判明した。	
5/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA923A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	広島	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
5/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA61AN	新石垣空港	那覇空港	進入中、必要な操作を失念したことから、対地接近警報装置が作動した。	
5/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			社内調査の結果、フラップの構成部品交換時の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
5/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC			社内調査の結果、前脚の内部部品の取付け作業において不備があったことが判明した。	
5/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	アンカレッジ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	シカゴ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20J	成田国際空港	福岡空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			運航整備中、脚扉を手動で開けようとしたところ開かなかった。	
5/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/27	東邦航空			八丈島空港	東京都青ヶ島村内場外	運航管理者が勤務開始時のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA04XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ			社内調査の結果、定時点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
5/27	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
5/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A			定時整備中、航空機用救命無線機の交換後の試験で不具合が発見された。	
5/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	バンコク	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物を誤った搭載位置で輸送したことが判明した。	
5/29	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA77AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/29	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	函館空港	審査合格後の通知を受領する前に、運航業務を行った。	
5/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
5/30	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	那覇空港	大阪国際空港	運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
6/1	全日本空輸					社内調査の結果、エンジンの部品の一部に技術資料で認めていない組み合わせの部品が使用されていることが判明した。	
6/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	宮古空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	ポストン	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	シカゴ	運航乗務員が飛行勤務開始時のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、左エンジン用パイロンの外皮に亀裂が発見された。	
6/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC			整備委託先において、パネルの取り付けスクリーンに製造者が認めていないものが取付けられていたことが判明した。	
6/4	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA604F	成田国際空港	ソウル(仁川)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA228J	大阪国際空港	福岡空港	離陸時、脚の操作レバーが上がらないことが判明したため、引き返した。	イレギュラー運航
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	青森空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	福岡空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A			定時整備中、胴体尾部の外皮に亀裂が発見された。	
6/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	北九州空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	佐賀空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	福岡空港	鹿児島空港	離陸して、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA319J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA331J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA336J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA345J			社内調査の結果、舵面に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	シンガポール	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
6/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC			整備委託先において、脚扉の取り付けボルトが不適切な状態で取付けられていたことが判明した。	
6/9	朝日航空	エアロスペース式AS332L1型	JA9678			定時整備中、胴体右側下部の外皮に亀裂が発見された。	
6/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA879J	香港	東京国際空港	上昇中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
6/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	那覇空港	中部国際空港	運航整備中、航法用の計器画面が一時的に非表示となった。	
6/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ			整備委託先において、機内の酸素マスクに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA810X	神戸空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			特別整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/12	日本航空	ボーイング式787-9型	JA861J	ロンドン	東京国際空港	社内調査の結果、良品でない部品を装着していたことが判明した。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シンガポール	バンコク	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	バンコク	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	新千歳空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	成田国際空港	香港国際空港	整備従事者が業務開始前のアルコール検査を実施せずに業務したことが判明した。	
6/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		山口宇部空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
6/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC			社内調査の結果、ウォッシュ液の配管が一部未接続であったことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A			定時整備中、胴体尾部の縦通材に亀裂が発見された。	
6/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA86AN	福岡空港	那覇空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
6/16	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
6/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	新石垣空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
6/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	那覇空港	北九州空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	那覇空港	整備委託先において、スポイラー機構の一部に製造者が認めていない資材が使用されていたことが判明した。	
6/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	関西国際空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
6/19	琉球エアコミューター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC			運航整備中、失速警報に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
6/19	アイベックスエアラインズ	ホンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大分空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ	福岡空港	中部国際空港	飛行中、計器着陸装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/20	琉球エアコミューター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	運航整備中、失速警報に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
6/20	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN			社内調査の結果、飲み水タンクの消毒作業の一部が実施されていないことが判明した。	
6/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	メキシコ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	関西国際空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM			整備委託先において、発電機の給油作業において、不備があったことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	ソルスキー式S-76C型	JA11GJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	ソルスキー式S-76C型	JA12GJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ファーストエアートランスポート	ソルスキー式S-76C型	JA11GJ			社内調査の結果、定時点検の作業の一部で古い技術資料に基づき、作業していたことが判明した。	
6/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ			整備委託先において、機内の酸素マスクに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/22	琉球エアコミューター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	飛行中、機内用照明灯のベースの一部外れて落下した。	
6/22	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA856A			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
6/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
6/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA65AN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	那覇空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA828P	福岡空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA806P	台南	関西国際空港	飛行中、気象レーダーの表示に不具合があった。	
6/28	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA140A	大阪国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/28	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	沖永良部空港	鹿児島空港	地上担当者の確認不足により、誤った乗客を搭乗させて運航させた。	
6/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ			定時整備中、客室内の非常用照明灯の機能点検を行ったところ一部、点灯しないことを発見した。	
6/29	琉球エアコミューター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC			飛行前の煙探知機の点検をしたところ、後方貨物室の換気弁に不具合があることを示すライトが点灯した。	
6/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	日本航空	ボーイング式787-9型	JA863J	ロンドン	東京国際空港	出発時、必要なスイッチ操作を失念したことから、運用限界を超過した。	
7/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	福岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/2	アイベックスエアラインズ	ホンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	新潟空港	福岡空港	運航整備中、操縦室内の防水携帯灯の一部に不具合が発見された。	
7/2	アイベックスエアラインズ	ホンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	福島空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型		東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA138A	大阪国際空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
7/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	出雲空港	飛行中、確認会話を誤認し、フラップ展開を行ったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A			社内調査の結果、必要な資格を有しない確認主任者が法確認を行っていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/5	スカイマーク					飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	小松飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	降下中、乗員間の確認が不足したことから、管制指示高度を超過した。	
7/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	熊本空港	東京国際空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
7/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シカゴ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA708J	東京国際空港	那覇空港	出発時、必要なスイッチ操作を失念したことから、運用限界を超過した。	
7/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN	釧路空港	東京国際空港	運航整備中、航空機救命無線機に不具合が発見された。	
7/9	フジドリームエアラインズ	エンバエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	名古屋飛行場	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
7/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	中部国際空港	仙台空港	降下中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	イレギュラー運航
7/10	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA01JC	奄美空港	鹿児島空港	社内調査の結果、発動機内の配管と取り付けが不適切であったことが判明した。	
7/11	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA807P	新潟空港	関西国際空港	離陸滑走中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	アンカレッジ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
7/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	中部国際空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J			社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	中部国際空港	秋田空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/16	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA813X	東京国際空港	大分空港	運航整備中、作業漏れがあったため、出発後、エンジンが始動出来ず駐機場に引き返した。	
7/16	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	宮古空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/16	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA604F	成田国際空港	ソウル(仁川)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA54AN	庄内空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	シドニー	東京国際空港	降下中、航空交通管制用自動応答装置に不具合が発生した。	
7/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	中部国際空港	那覇空港	運航整備中、定められた手順で試験を行わなかったことから、地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	日本航空	ボーイング式777-200型	JA897B	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/20	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	成田国際空港	クアラルンプール	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/20	新日本航空	セナ式172P型	JA4149			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	
7/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	那覇空港	与論空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/21	新日本航空	セナ式172P型	JA4061			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	
7/21	新日本航空	セナ式172P型	JA3900			社内調査の結果、座席の点検期限を超過していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	青島(中国)	成田国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンの空気取り入れ口の損傷を発見した。	
7/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	那覇空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/22	ジェイエア	エアバス式ERJ170-100STD型	JA224J	新千歳空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A			装備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
7/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	
7/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	神戸空港	那覇空港	運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA808P	成田国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	那覇空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/27	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA217A	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/27	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6914			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	神戸空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	成田国際空港	シンガポール	着陸時、第1エンジンの逆推力装置の作動を示す表示が非表示であった。	
7/29	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	宮崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/29	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C			定時整備中、客室酸素の流量制御系統に不具合が発見された。	
7/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	朝日航洋	ヘル式430型	JA6912			社内調査の結果、予備品証明を受けていない航法機器を搭載して運航したことが判明した。	
7/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	ロサンゼルス	東京国際空港	到着後、作業者の携帯電話が貨物室で発見された。	
8/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	函館空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	シンガポール	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	シカゴ	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	シンガポール	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/2	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA814P	関西国際空港	新千歳空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U			定時整備中、右主翼の構造部に腐食が発見された。	
8/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA24JJ	高松空港	成田国際空港	運航整備中、客室内の非常灯の一部が点灯しなかった。	
8/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	能登空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	福岡空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/4	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA72AN	岡山空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	松山空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/5	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	東京国際空港	釧路空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	大阪国際空港	福島空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/5	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/6	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA771J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA773J			社内調査の結果、航空機用救命無線機の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚機構の点検期限を超過していたことが判明した。	
8/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	福岡空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	成田国際空港	新千歳空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	大阪国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/8	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	旭川空港	着陸時、エンジンに不具合があったことを示す計器表示があった。点検の結果、第1エンジンの逆推力装置に不具合があった。	
8/9	せとらちSEAPLANES	セスナ式Kodiak 100型	JA03TG	境ガ浜	境ガ浜	飛行中、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
8/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	熊本空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/9	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA810X	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/9	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	新千歳空港	スラストリバーサーの運用許容基準の適用にあたり処置が不足していたことから、離陸前にエンジン出力が上昇せず、離陸を中止した。その後、地上走行中に推力が正常に戻った為離陸したが、巡航飛行中再びエンジン出力が一時的に上昇しなかった。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A			定時整備中に航空機用救命無線機が作動しなかった。調査の結果、製造時にスイッチが入っていなかった事が判明した。	
8/9	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A			社内調査の結果、エンジン関連部品交換後に、必要な登録を行わなかったことから、検査が行われないうまま運航していたことが判明した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	東京国際空港	鹿児島空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
8/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA74AN	福岡空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	新千歳空港	神戸空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	福岡空港	東京国際空港	着陸後の地上滑走中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	イレギュラー運航
8/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J	東京国際空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	松本空港	神戸空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA214J	種子島空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、後方の貨物室扉の構造部に腐食が発見された。	
8/13	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	那覇空港	中部国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A			社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	那覇空港	東京国際空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	石見空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	那覇空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	大阪国際空港	奄美空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、胴体前方の構造部に腐食が発見された。	
8/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J	青森空港	東京国際空港	上昇中、レバー操作が行き過ぎたことから脚下げ時における運用限界速度を超過した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	大連	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/18	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	鹿児島空港	定例整備中、作業漏れがあったため、出発前、油圧が加圧出来なかった。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA897I	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
8/19	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	香崎空港	運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG			技術資料の解釈を誤ったことから、必要な繰り返し点検を計画せずに運航した。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	成田国際空港	ロサンゼルス	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA348J	福岡空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/20	日本航空	エアバス式A350-941型	JA01XJ	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/20	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA8358	成田国際空港	ソウル(仁川)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	出雲空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z			社内調査の結果、修理の持ち越し処理に必要な作業の一部が実施されていないことが判明した。	
8/22	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	鹿児島空港	福岡空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA847J			社内調査の結果、胴体のパネルの不具合に対して必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
8/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/24	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA03DJ			定時整備中、非常用脱出装置の電源系統に不具合が発見された。	
8/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
8/24	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			整備委託先において、電子機器室内の水漏れ用の保護パネルが取り付けられていなかったことが判明した。	
8/25	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/26	朝日航空	シコスキー式S-76D型	JA6960	東京ヘリポート	愛知県豊田市 場外	降下中、通常の脚上げ操作を行ったところ脚が展開しないことが判明した。	
8/26	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA11HC	札幌飛行場	釧路空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AC	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	東京国際空港	富山空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/26	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	大連	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	新石垣空港	那覇空港	社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が誤った情報で行われていたことが判明した。	
8/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J			社内調査の結果、特別整備の際に必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
8/28	日本航空	ボーイング式777-200型	JA010D	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	福岡空港	離陸後の上昇中、鳥衝突により左側胴体前方に損傷を受けた。	航空事故
8/29	学校法人ヒラタ学園	ユーロコプター式EC135P2+型	JA827H	沖縄県浦添市内場外	沖縄県島尻郡 内場外	飛行中、確認が不足したことから、特別管制区に無許可侵入した。	
8/30	せとうちSEAPLANES	クエスト式Kodiak 100型	JA03TG	境ガ浜	境ガ浜	特別管制区に無許可侵入した。	
8/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA861J	ロサンゼルス	東京国際空港	進入中、乗務員の失念により管制指示高度を逸脱した。	
8/30	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	宮崎空港	福岡空港	離陸時、パワーレバーを出し過ぎたことから、両エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
8/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	宮崎空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/1	ジェッツスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ			社内調査の結果、飲料水系統の部品交換の際、取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
9/1	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	大分空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	北九州空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA80AN	東京国際空港	那覇空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	福岡空港	大阪国際空港	到着後、垂直安定板前縁に取り付け保護テープが欠損していた。	
9/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	神戸空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型				社内調査の結果、飛行管理装置に有効期限切れのバッテリーが組み込まれていたことが判明した。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F			社内調査の結果、飛行管理装置用バッテリーの交換期限が超過していたことが判明した。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA621A			社内調査の結果、飛行管理装置用バッテリーの交換期限が超過していたことが判明した。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	大阪国際空港	進入中、前縁フラップに不具合があったことを示す計器表示があったため復行した。	
9/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	新潟空港	大阪国際空港	到着後、垂直安定板前縁に取り付け保護テープが欠損していた。	
9/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	香崎空港	到着後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	成田国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	関西国際空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	新潟空港	着陸時、ギャレーからカートが飛び出した。	
9/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA814P	成田国際空港	関西国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC			定時整備中、操縦室内予備座席の酸素供給装置に不具合が発見された。	
9/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/8	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA111A	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA710J	大阪国際空港	那覇空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/8	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	大阪国際空港	但馬飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	那覇空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/9	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ			定時整備中、客室内の防水携帯灯の一部に不具合が発見された。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A	シンガポール	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	成田国際空港	新石垣空港	飛行中、擾乱により指示高度を逸脱した。	
9/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA69AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	成田国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			社内調査の結果、部品取り付け後の付随作業が実施されていないことが判明した。	
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			社内調査の結果、部品取り付け後の付随作業が実施されていないことが判明した。	
9/10	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA601F	成田国際空港	ソウル(仁川)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/10	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA02AN			運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
9/11	全日本空輸					社内調査の結果、エンジンのファンブレードの一部に必要な表面加工が実施されていないことが判明した。	
9/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA250J	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	広島空港	仙台空港	運航形態毎の客室乗務員の着席位置が不明確であったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
9/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	新潟空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/13	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	シカゴ	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	新千歳空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
9/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL			運航整備中、非常用脱出扉の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/17	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/18	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	東京国際空港	大分空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	福岡空港	東京国際空港	特別整備中、客席のシートカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A			特別整備中、客席のシートカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	釧路空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	仙台空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	大阪国際空港	秋田空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	新千歳空港	東京国際空港	客室乗務員が乗務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	熊本空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN			定時整備中、操縦室内予備座席の酸素マスクのホースから漏れがあった。	
9/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	東京国際空港	青森空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J	グアム	グアム	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A			整備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
9/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA312J			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
9/24	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA11HC	札幌飛行場	函館空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	札幌飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/25	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA133A	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	東京国際空港	上昇中、主脚格納室内に火災があったことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	東京国際空港	グラス	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA605A	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	東京国際空港	松山空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す警報が鳴ったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA792A	東京国際空港	ニューヨーク	上昇中、航空交通管制自動応答装置と航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
9/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	福岡空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA213J	福岡空港	宮崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業者の無線機が貨物室で発見された。	
9/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	中部国際空港	那覇空港	飛行中、両方の飛行管理装置に不具合が発生した。	
9/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アムステルダム	ミラノ	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	東京国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA789A	東京国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA771F	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA777A	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA792A	東京国際空港	ニューヨーク	地上担当者の確認不足により、必要な航空情報を反映せずに飛行計画を作成し、運航した。	
9/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA04VA	成田国際空港	福岡空港	離陸前の確認が不足していたことから非常脱出扉が不動作の状態で離陸した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
10/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/1	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	宮古空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/1	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA816P	成田国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	青森空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A	新千歳空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
10/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	山口宇部空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	福岡空港	百里飛行場	客室乗務員が乗務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
10/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF			定時整備中、操縦室内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
10/4	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA715A			定時整備中、乗降用扉の非常用動力装置に不具合が発生された。	
10/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA322J	東京国際空港	青森空港	降下中、速度の確認が不足したことから、運用限界速度を超過した。	
10/5	日本航空	ボーイング式787-9型	JA863J	東京国際空港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
10/7	オリエントエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B			社内調査の結果、予備品証明検査を受験していない部品を機体に装着していたことが判明した。	
10/7	オリエントエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B			社内調査の結果、予備品証明検査を受験していない部品を機体に装着していたことが判明した。	
10/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/8	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	南紀白浜空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	シンガポール	成田国際空港	飛行中、燃料の移送を行ったところ、正常な移送が出来なかった。	
10/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA79AN	東京国際空港	岡山空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980			定時整備中、左側フラップの構造部に腐食が発見された。	
10/9	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	中部国際空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA225J	大阪国際空港	山形空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/10	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	成田国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	新潟空港	福岡空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	上海(浦東)	梱包状態が脆弱な危険物を荷主が搬入し、最終目的地まで輸送されたことが判明した。	
10/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	東京国際空港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	関西国際空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/12	朝日航空	マクドネル・ダグラス式MD900型	JA6902			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
10/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA70AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	成田国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/13	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ			特別整備中、操縦室内装品に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
10/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	名古屋飛行場	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA69AN	福岡空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ			社内調査の結果、防水携帯灯のバッテリー交換時に必要な部品を交換していないことが判明した。	
10/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA06JJ			社内調査の結果、防水携帯灯のバッテリー交換時に必要な部品を交換していないことが判明した。	
10/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ			社内調査の結果、防水携帯灯のバッテリー交換時に必要な部品を交換していないことが判明した。	
10/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ			社内調査の結果、防水携帯灯のバッテリー交換時に必要な部品を交換していないことが判明した。	
10/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	中部国際空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
10/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	東京国際空港	ダラス	飛行中、擾乱により運用限界速度および指示高度を逸脱した。	
10/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	東京国際空港	ダラス	飛行中、ギャレーからカートが飛び出した。	
10/18	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ			定時整備中、一部の非常用脱出装置が展開しないことが判明した。	
10/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA11RK	那覇空港	福岡空港	飛行中、補助動力装置の煙探知機に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
10/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			定時整備中、ラダーの構造部に腐食が発見された。	
10/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	関西国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	百里飛行場	福岡空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	東京国際空港	宮古空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
10/20	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA743J	ロサンゼルス	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/20	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	久米島空港	那覇空港	着陸後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/21	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA68AN	東京国際空港	熊本空港	進入中、擾乱の影響により対地接近警報が作動した。	
10/22	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8945			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
10/22	日本航空	ボーイング式787-8型	JA843J	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA228J	山形空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA811P	福岡空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	北京	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	鹿児島空港	喜界空港	着陸時、横風による機首偏向に対し修正操作が過大となりプロペラを滑走路に接触させた。	
10/23	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA75AN	佐賀空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/23	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	福岡空港	福江空港	着陸時、強めの接地となり、胴体後方下部を損傷した。	航空事故
10/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	福岡空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	熊本空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN			定時整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
10/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	高松空港	東京国際空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
10/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J	東京国際空港	旭川空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ			特別整備中、操縦室内装品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
10/26	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA114A	東京国際空港	函館空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/26	朝日航洋	エアバス式A320-232型	JA6930	神戸空港	名古屋飛行場	社内調査の結果、燃料用配管の接続が、不完全であったことが判明した。	
10/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	関西国際空港	台北(桃園)	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
10/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	メキシコ	成田国際空港	飛行中、機内通話装置に不具合が発生した。	
10/26	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	長崎空港	香岐空港	運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/27	朝日航洋	マドネル-ダグラス式MD900型	JA6790			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
10/27	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	バンコク	成田国際空港	スラストリバーサーの運用許容基準の適用にあたり配置が不足していたことが判明した。	
10/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	新石垣空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA04VA			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
10/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	成田国際空港	上海(浦東)	到着後の点検で、鳥衝突により第1エンジンの圧縮機ブレードの損傷を発見した。	
10/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A	シンガポール	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
10/29	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA58AN	東京国際空港	熊本空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/29	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA18AN	大阪国際空港	松山空港	機内照明の不具合に対して、必要な運用許容基準を適用せずに運航した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
10/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	福岡空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	新千歳空港	中部国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/31	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	バンコク	成田国際空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/31	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アムステルダム	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
11/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	シカゴ	ニューヨーク	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
11/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A	フランクフルト	東京国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	東京国際空港	那覇空港	飛行中、航法計器に不具合があったことを示す計器表示があった。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA754A			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	成田国際空港	サンフランシスコ	飛行中、非常用脱出扉の補助装置が不動作の状態でご発生したことが判明した。	
11/3	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA252J	大阪国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/3	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	大分空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	福岡空港	往路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/4	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
11/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	福岡空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
11/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	新千歳空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
11/8	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA139A			定時整備中、客室内拡声器の一部に不具合が発見された。	
11/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA811P			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
11/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	関西国際空港	仙台空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
11/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07J	成田国際空港	関西国際空港	飛行中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA70AN	那覇空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA06VA	新石垣空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA816P			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
11/9	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	フランクフルト	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
11/10	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA79AN	那覇空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/10	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	対馬空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A	成田国際空港	シンガポール	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
11/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	花巻空港	名古屋飛行場	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/11	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	成田国際空港	ホーチミン	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/11	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA218A			社内調査の結果、発電機系統の一部に製造者が認めていない機器が取付けられていたことが判明した。	
11/12	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	東京国際空港	ニューヨーク	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	東京国際空港	岡山空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/14	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	ダラス	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/14	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA826P	新潟空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA84AN	中部国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	バンコク	成田国際空港	委託先整備士が作業用無線機を機内へ置き忘れた。	
11/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	福岡空港	東京国際空港	定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
11/15	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA16FJ	青森空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA57AN	関西国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/16	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA245J	新千歳空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J		東京国際空港	定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
11/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J		東京国際空港	定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
11/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J		東京国際空港	定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
11/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J		東京国際空港	定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
11/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、飛行経路に影響がある運航情報が機長に提供されない状態で運航した。	
11/17	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA10VA	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	成田国際空港	青島	飛行中、燃料の移送を行ったところ、正常な移送が出来なかった。	
11/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	鹿児島空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/18	エアージャパン	ボーイング式787-9型	JA894A	バンコク	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
11/18	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A			社内調査の結果、乗客用座席に製造者が認めていない部品が取付けられていることが判明した。	
11/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	福岡空港	東京国際空港	飛行中、第1エンジンの排気ガス温度が上昇したことから、エンジンを停止させ目的地を変更した。	イレギュラー運航
11/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA308J	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/20	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA810X	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA808A	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
11/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	関西国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/21	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA741A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J			定時整備中、右側フラップの構造部に腐食が発見された。	
11/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	鹿児島空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	福岡空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	福岡空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
11/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	紋別空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	広島空港	対馬空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA346J	東京国際空港	高松空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	静岡空港	出雲空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/28	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	新千歳空港	東京国際空港	降下中、右側燃料タンクの表示が非表示になった。	
11/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	福岡空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
11/28	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA709A	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
11/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	神戸空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	福岡空港	大阪国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/29	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA225J	福岡空港	奄美空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8988	東京国際空港	広島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA810P	成田国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
11/30	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	但馬飛行場	大阪国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
11/30	全日本空輸	ボーイング777-300ER型	JA786A	東京国際空港	ロサンゼルス	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
11/30	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA24MC			定時整備中、主翼のフェアリングの取付けに不備があったことが判明した。調査の結果、製造時の不備であったことが判明した。	
12/1	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/1	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA14JJ	福岡空港	成田国際空港	エンジン始動時、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/2	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
12/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA08FJ			社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が誤った情報で行われていたことが判明した。	
12/2	日本航空	ボーイング787-8型	JA824J			整備委託先において、胴体下部に取り付け排水弁の一部が未装着であったことが判明した。	
12/3	ANAウイングス	ボンバルディアDHC-8-402型	JA857A			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/4	日本航空	ボーイング777-200型	JA8978	那覇空港	東京国際空港	上昇中、第1エンジンに振動が発生するとともに、不具合が発生したことを示す計器表示があったことから引き返した。	重大インシデント
12/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディアCL-600-2C10型	JA12RJ			社内調査の結果、構造修理の一部が不適切に行われていたことが判明した。	
12/5	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA150A	高松空港	那覇空港	対地接近警報装置のデータが最新でなかったことから、進入中、対地接近警報装置が誤った警報を出した。	
12/6	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA02HC	函館空港	奥尻空港	離陸後、脚上げ操作ができなかったことから引き返した。	イレギュラー運航
12/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA15FJ	静岡空港	出雲空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/8	ソラシドエア	ボーイング737-800型	JA802X	中部国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/9	日本航空	ボーイング767-300型	JA610J	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/9	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA73NR	東京国際空港	那覇空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/10	琉球エアコミューター	ボンバルディアDHC-8-402型	JA82RC	与論空港	那覇空港	定時整備中、エンジンの作動試験を実施したところエンジンに不具合があったことを示す計器表示があった。	
12/10	日本航空	ボーイング737-800型	JA326J	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング737-800型	JA08RK	那覇空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
12/11	全日本空輸	ボーイング737-700型	JA18AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/11	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA73NL			夜間駐機中、航空機用救命無線機が作動していたことが判明した。	
12/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング737-800型	JA09RK	小松飛行場	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/12	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA73TT	東京国際空港	福岡空港	離陸前の地上走行中、エルロンの操作を行ったところ通常と異なる感覚であった。	
12/12	日本航空	ボーイング737-800型	JA339J	宮崎空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA07FJ			定時整備中、客室内の非常用照明灯の機能点検を行ったところ一部、点灯しないことを発見した。	
12/13	ソラシドエア	ボーイング737-800型	JA810X	那覇空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/13	全日本空輸	ボーイング777-300型	JA756A	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
12/14	ANAウイングス	ボンバルディアDHC-8-402型	JA842A	鹿児島空港	大阪国際空港	飛行中、油圧系統に不具合が発生したため、緊急事態を宣言の上、着陸した。	イレギュラー運航
12/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング737-800型	JA12RK	中部国際空港	那覇空港	上昇中、急激に風速が変化したことから運用限界速度を超過した。	
12/14	日本航空	ボーイング737-800型	JA343J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/14	全日本空輸	ボーイング777-300ER型	JA735A	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
12/15	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA813P			定時整備中、右主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
12/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング737-800型	JA07RK			社内調査の結果、救命胴衣の点検期限が超過していたことが判明した。	
12/16	全日本空輸	ボーイング777-200型	JA713A			定時整備中、非常用脱出扉の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/16	全日本空輸	E7ハス式A320-271N型	JA218A	東京国際空港	山口宇部空港	進入中、飛行管理装置の切り替えを失念したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
12/16	ANAウイングス	ボンバルディアDHC-8-402型	JA847A	大阪国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/16	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA814P	関西国際空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
12/16	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	新千歳空港	松本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA846J	大阪国際空港	東京国際空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/17	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA824P	成田国際空港	福岡空港	離陸後、補助動力装置の停止操作を失念したことから運用限界高度を超過した。	
12/17	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	大分空港	大阪国際空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A			運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	福岡空港	小松飛行場	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/18	日本航空	ボーイング式777-200型	JA897J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	新千歳空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	仙台空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	長崎空港	中部国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA57AN	新石垣空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	ワシントン	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
12/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	神戸空港	神戸空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/21	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	沖永良部空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	ミラノ	成田国際空港	運航整備中、舵面の隙間埋めのためのシールに製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
12/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	仙台空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE			整備委託先において、構造部材の計測値が許容外だったにも関わらず適切な処置がされていないことが判明した。	
12/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	松山空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA11VA	成田国際空港	福岡空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
12/23	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	中部国際空港	大阪国際空港	離陸後、航空機衝突防止装置の表示が通常と異なることから引き返した。	イレギュラー運航
12/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA820A	成田国際空港	メキシコ	進入中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/24	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC			社内調査の結果、乗客用酸素マスクの交換期限が超過していたことが判明した。	
12/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC	那覇空港	久米島空港	社内調査の結果、乗客用酸素マスクの交換期限が超過していたことが判明した。	イレギュラー運航
12/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	那覇空港	久米島空港	社内調査の結果、乗客用酸素マスクの交換期限が超過していたことが判明した。	
12/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	新石垣空港	与那国空港	社内調査の結果、乗客用酸素マスクの交換期限が超過していたことが判明した。	
12/25	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	小松飛行場	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	宮古空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	那覇空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JL	成田国際空港	高松空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	高松空港	着陸後、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/26	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA716A	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
12/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	中部国際空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
12/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
12/28	スターフライヤー	E750型A320-214型	JA27MC	中部国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/28	スターフライヤー	E750型A320-214型	JA27MC	福岡空港	東京国際空港	離陸中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA808A	東京国際空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
12/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
12/30	オリエントエアーブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	福岡空港	福江空港	降下中、機長側(左側)の操縦室窓にひび割れが発生した。	イレギュラー運航
12/30	スターフライヤー					運航支援者が業務開始時のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
12/30	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA03JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
12/31	全日本空輸	E750型A320-271N型	JA211A	東京国際空港	能登空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/31	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA81AN	大阪国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA658J	女満別空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/3	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA754A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	新千歳空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
1/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/4	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA11JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/4	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA17JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/4	スターフライヤー	E750型A320-214型	JA23MC	北九州空港	東京国際空港	整備委託先において、非常用扉の機構の一部が不適切な作業があったことが判明した。	
1/4	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA756A	東京国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
1/5	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	中部国際空港	松山空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/5	全日本空輸	E750型A320-271N型	JA213A			整備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA02JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA16JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA19JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	E750型A320-232型	JA22JJ			社内調査の結果、補助動力装置の交換作業の際に製造者が認めていないナットが取付けられていたことが判明した。	
1/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
1/6	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	新千歳空港	仙台空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
1/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	上海(浦東)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
1/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	百里飛行場	那覇空港	出発前、操縦室用の酸素ボットの圧力が低下していることが発見された。	
1/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA840A	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	那覇空港	東京国際空港	出発前の準備中、操縦室内の防水携帯灯の一部に不具合が発見された。	
1/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	東京国際空港	新石垣空港	飛行中、左右の航法計器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/11	琉球エア・コミュニーター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	久米島空港	那覇空港	運航整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	福岡空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X			定時整備中、操縦室内の防煙眼鏡に不具合が発見された。	
1/12	オリエントエアーブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港		社内調査の結果、操縦室窓の交換をした際、不備があったことが判明した。	
1/13	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	岡山空港	東京国際空港	到着後、前脚のタイヤが部分的に割れていることが発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
1/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	東京国際空港	新千歳空港	降下中、風速の増加により運用限界速度を超過するとともに、減速を行う際にスピードブレーキの運用限界を超えて操作した。	
1/15	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	鹿児島空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	東京国際空港	鹿児島空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
1/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/18	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	鹿児島空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA339J			定時整備中、客室内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
1/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA244J	大阪国際空港	宮崎空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを見つけた。	
1/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
1/21	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
1/21	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA787A	シカゴ	成田国際空港	飛行中、第1エンジンの振動が上昇したため引き返した。	イレギュラー運航
1/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	東京国際空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	三沢飛行場	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA898A	成田国際空港	ハノイ	降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/23	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	東京国際空港	新千歳空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
1/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC			社内調査の結果、予備品証明検査を受験していない部品を機体に装着していたことが判明した。	
1/23	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC			社内調査の結果、予備品証明検査を受験していない部品を機体に装着していたことが判明した。	
1/24	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC			運航整備中、貨物室の換気弁に不具合が発見された。	
1/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA795A	東京国際空港	ニューヨーク	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
1/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA23JJ			特別整備中、非常用脱出扉の一部の非常用照明灯が点灯しないことを見つけた。	
1/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
1/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ミラノ	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/26	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	上海(浦東)	成田国際空港	定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
1/26	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
1/26	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	ソウル(仁川)	成田国際空港	運航乗務員の乗務後アルコール検査における機器不具合時の再検査手順が適切に実施されなかった。	
1/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA14FJ	静岡空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
1/27	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA246J	大阪国際空港	仙台空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
1/29	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/30	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	新石垣空港	成田国際空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
2/1	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA809P	中部国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	香港	成田国際空港	着陸後の点検で、胴体後下部を損が発見された。	航空事故
2/1	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA812X	中部国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
2/2	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	旭川空港	東京国際空港	社内調査の結果、空調系統の部品の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
2/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	福岡空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	成田国際空港	成田国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/4	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	熊本空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/4	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	中部国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	成田国際空港	マニラ	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
2/5	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA15VA	関西国際空港	奄美空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/5	日本貨物航空	ボーイング747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、タイヤの部品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
2/6	日本貨物航空	ボーイング747-8F型	JA16KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
2/8	全日本空輸	エアバスA320-271N型	JA215A	東京国際空港	秋田空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/8	全日本空輸	ボーイング787-9型	JA871A	ワシントン	東京国際空港	進入中、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
2/9	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA27MC	中部国際空港	福岡空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/10	ZIPAIR Tokyo	ボーイング787-8型	JA825J	成田国際空港	ソウル(仁川)	出発前、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、進入経路を逸脱した。	
2/12	日本航空	エアバスA350-941型	JA08XJ	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
2/12	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA73NC	那覇空港	神戸空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
2/13	北日本航空	パイパーPA-34-220T型	JA123E	与論空港	那覇空港	飛行中、異音が発生したことから、地上で確認したところ、プロペラの除氷ブーツに不具合が発見された。	
2/14	日本航空	ボーイング737-800型	JA339J	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
2/14	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA22JJ			社内調査の結果、操縦室内に装備された棚に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
2/15	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA737Y			定時整備中、操縦室内の防煙眼鏡に不具合が発見された。	
2/15	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/15	ANAウイングス	ボンバルディアDHC-8-402型	JA848A	仙台空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/15	日本航空	ボーイング737-800型	JA330J	松山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/15	日本航空	ボーイング737-800型	JA329J	高松空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディアCL-600-2C10型	JA12RJ	中部国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/15	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA136A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	全日本空輸	ボーイング777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
2/16	琉球エア・コミュニーター	ボンバルディアDHC-8-402型	JA84RC			社内調査の結果、定時点検の一部の期限が超過していたことが判明した。	
2/18	全日本空輸	ボーイング737-700型	JA06AN			運航整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
2/18	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA825P			定時整備中、客室扉のマーキングの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
2/18	全日本空輸	ボーイング787-8型	JA825A	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/18	日本航空	ボーイング787-9型	JA867J	東京国際空港	ヘルシンキ	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
2/18	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA05JC	鹿児島空港	出雲空港	社内調査の結果、被雷後の点検に不備があったことが判明した。	
2/19	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA813P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
2/19	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA813P			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
2/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエルERJ170-200STD型	JA16FJ	名古屋飛行場	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
2/21	ジェイエア	エンブラエルERJ190-100STD型	JA241J	東京国際空港	花巻空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
2/22	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA139A	東京国際空港	新千歳空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
2/22	日本航空	ボーイング737-800型	JA325J	東京国際空港	宮崎空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
2/23	日本航空	ボーイング787-8型	JA843J	成田国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/23	琉球エア・コミュニーター	ボンバルディアDHC-8-402型	JA84RC	宮古空港	新石垣空港	社内調査の結果、操縦桿に関する給油作業の期限が超過していたことが判明した。	
2/24	全日本空輸	ボーイング777-300ER型	JA794A	東京国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/24	ソラドエア	ボーイング737-800型	JA813X	中部国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
2/25	全日本空輸	ボーイング737-700型	JA03AN			特別整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
2/25	全日本空輸	ボーイング767-300F型	JA605F	広島	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
2/25	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA25JJ	成田国際空港	台北(桃園)	空輸便の到着後、ギャレーのコンテナが落下していた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
2/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J			社内調査の結果、重量重心の計測期限が超過していたことが判明した。	
2/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J			社内調査の結果、重量重心の計測期限が超過していたことが判明した。	
2/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	東京国際空港	山口宇部空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/26	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A	長崎空港	大阪国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	成田国際空港	ボストン	飛行中、擾乱により運用限界速度および指示高度を逸脱した。	
3/1	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	新千歳空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
3/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ			社内調査の結果、エンジンの部品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
3/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			定時整備中、胴体上部の構造部に摩耗が発見された。	
3/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	新千歳空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/5	朝日航洋	マグネル・ダラス式MD900型	JA6908			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
3/5	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	福江空港	進入中、対象物がないにも関わらず対地接近警報装置が作動した。	
3/5	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/7	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA67AN	鹿児島空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y			定時整備中、客室内の非常用照明灯の機能点検を行ったところ一部、点灯しないことを発見した。	
3/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
3/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA814A			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA895A	東京国際空港	シアトル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	新千歳空港	中標津空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/11	全日本空輸	エアバス式A380-841型	JA381A			定時整備中、客室内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
3/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	那覇空港	神戸空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
3/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	中部国際空港	新千歳空港	離陸して、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	イレギュラー運航
3/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	北九州空港	東京国際空港	到着後、第2エンジンの逆推力装置内に取り付けられた耐熱用の内張りが部分的に剥がれていることが発見された。	
3/12	スカイマーク			東京国際空港	神戸空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
3/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	新千歳空港	関西国際空港	飛行中、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
3/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
3/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ	成田国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA05VA	成田国際空港	奄美空港	離陸中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
3/13	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	大阪国際空港	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
3/14	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
3/14	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	東京国際空港	徳島飛行場	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/14	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	成田国際空港	サンフランシスコ	社内調査の結果、必要な要件を満足せずに機長業務を行っていたことが判明した。	
3/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	仙台空港	大阪国際空港	到着後の点検で、水平安定版に損傷が発見された。社内調査の結果、数日前の作業にて車両を接触させていたことが判明した。	
3/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
3/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	那覇空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/15	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA923A	東京国際空港	バンクーバー	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/15	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA144A	松山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	新千歳空港	百里飛行場	社内調査の結果、客室座席の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
3/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	神戸空港	長崎空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	神戸空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/17	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA58AN			定時整備中、一部の酸素供給装置が作動していたことが判明した。	
3/18	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA812P	関西国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/18	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	ソウル(仁川)	成田国際空港	着陸直前、風の変化を受けて対地接近警報装置が作動した。	
3/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	大阪国際空港	高知空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
3/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	鹿児島空港	静岡空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
3/19	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA03HC			社内調査の結果、定時点検の一部の期限が超過していたことが判明した。	
3/21	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	中部国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ソウル(仁川)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	大阪国際空港	新千歳空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/22	フジドリームエアラインズ					運航乗務員の確認不足により、航空身体検査不適合な状態で、業務に従事したことが判明した。	
3/22	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	東京国際空港	バンコク	社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が不適切に行われていたことが判明した。	
3/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA09JC	喜界空港	奄美空港	乗員間の周回進入に関する確認が不十分であったことから、対地接近警報が作動した。	
3/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A	東京国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	香港国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
3/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ			社内調査の結果、タイヤ交換をした際、不備があったことが判明した。	
3/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	中部国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	宮古空港	中部国際空港	上昇中、慣性航法装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
3/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	那覇空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/28	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA815P	仙台空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
3/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	大阪国際空港	秋田空港	降下中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
3/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、第1エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったことから目的地を変更した。	イレギュラー運航
3/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA622J	東京国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/30	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	